

—Safety News—

きらめき

2021年2月1日

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 石川 亨
編集責任者: 村上 良智

通建連合『労働安全衛生強化期間』

期 間: 2021年1月18日(月)~2月26日(金)

通建連合ならびに各構成組織は、安全労働を運動の重要な柱と位置付け、安全衛生委員会等の各種会議の場において各社の安全施策の展開状況等の確認を実施するとともに、労働組合独自の労働安全衛生の確立に向けた取り組みを展開してきました。

しかし、全国的に人身事故が後を絶たない状況にあり、転落・転倒といった死亡事故に繋がりがねない人身事故は依然として発生している状況にあり、その多くは、過去に発生した事故と同様な内容も見受けられ、いずれの事故の要因・原因を見れば作業者自身の近道行動や不安全行動等、作業手順の誤りが起因するものが多く発生しております。

そのような状況にあることから、改めて現場第一線における安全意識の向上と決して事故を“起こさない”“起こさせない”ための安全風土の醸成が極めて重要であると判断し、1月18日~2月26日の期間において、通建連合「労働安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズを配布しながら安全労働の向上に向けた注意喚起を実施することとしました。

インフラ東北としては、昨年東北管内において“絶対に起こしてはならない”死亡事故が発生していることを重く受け止め、事故の教訓や再発防止に向けた対策の風化防止等を目的に、2月1日~26日の期間において取り組みを展開することを決定してきました。

具体的には、各職場で開催される朝礼に組合役員・分会長が参加させて頂き、作業環境の悪化や年度末に入り工事繁忙にある現場で従事されている皆様に、通建連合作成の安全グッズ(除菌ウェットティッシュ)を配布し安全労働確立に向けた啓蒙活動を行うことで安全意識の高揚や職場の安全風土の醸成に努めたいと考えております。

現場作業にあたっては、これまで発生した事故等を決して“対岸の火事”と捉えることなく、再発防止策を再確認し、「私達の職場からは絶対に事故は発生させない」との強い意識を持って頂きたいと思ひますし、『決めたこと・決められたことは守る』『近道行動・不安全行動の排除』『基本動作・作業手順の徹底』をお願いしたいと思います。また、現場作業においては都度環境が変わり危険も各々です。状況によっては勇気を持って一度作業を中止するなどの対応をお願いします。

安全より優先する仕事はありません。

また、安全作業にあたっては、身体だけではなく「こころの健康」も大切だと考えています。悩みごとや心配ごとがあれば家族や周りの仲間に相談頂き、リフレッシュして前向きに仕事に取り組める環境づくりも併せてお願いしたいと思います。

本格的な冬期間に入り、作業環境がますます悪化する中、年度末の繁忙時期を迎えます。決して慌てることなく、現場環境を踏まえた安全作業に努め、仲間そして家族の元に笑顔で帰りましょう！



笑顔で帰ろう!!
LET'S GO HOME WITH A SMILE!!